

三体千字文を書く (58)

締切り 十月二十三日 (必着)

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲照先生書

福縁善慶
福縁善慶
福縁善慶
氏名

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二―五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡からまとめたといわれる。

〔解説〕

禍因悪積

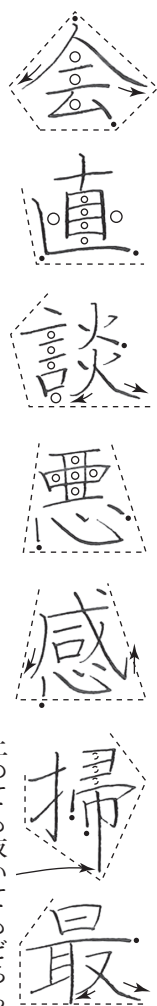
福縁善慶

禍いは悪行を重ねることによっておこり、福は善行や慶びによってもたらされる。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

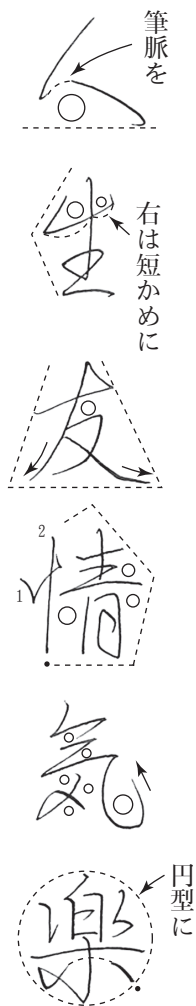
会って直談するのが
悪感情を一掃する
最上の方法だ

お 郷 翠 光 書
尾 郷 翠 光

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



気	友	人
高	情	生
い	よ	に
快	り	は
楽	も	
は		
な		
い		

ふ る た ずい えん 書
古 田 瑞 苑

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

★人生には…(書体Ⅱ行書)

サミュエル・ジョンソン

(一七〇九〜一七八四)

イギリスの詩人・評論家

サミュエル・ジョンソンは「英語

辞典」を独力で完成させたことや、

シェークスピアの研究で、英文学史上

に巨大な足跡を残しました。

このことばでは、友情を楽しむこと

を「気高い快楽」と言っていますが、

そのぐらい精神的な満足感や充足感が

得られるということです。

◆11月課題予告(楷書)

怒りの静まる時

後悔がやってくる

ソフォクレス

★会って…(書体Ⅱ楷書)

リンカーン(一八〇九〜一八六五)

アメリカ第十六代大統領

感情的に相手にわだかまりを持たせ

たような場合には、直接相手と顔をあ

わせて、じかに話し合えば誤解や偏見

は氷解するものであると言っています。

奴隷解放問題、南北戦争など困難な

時代の指導者として活躍したリンカー

ンの「座右の銘」の一つであったとい

われます。

◆11月課題予告(行草または草書)

水飲み

楽しむ者あり

錦着て憂うる者あり

▼教範・書範Ⅱ行書

▼師範Ⅱ楷書

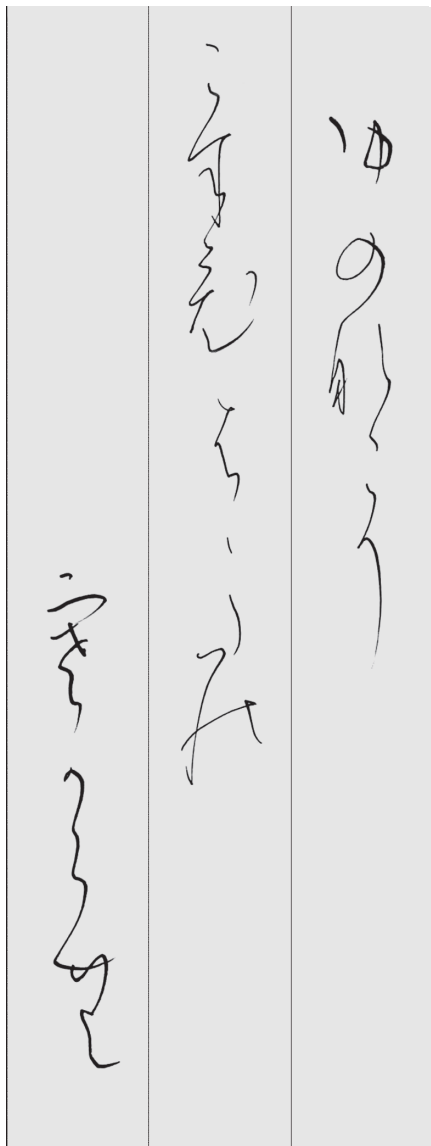
一般部かな課題

締切り 10月23日(必着)

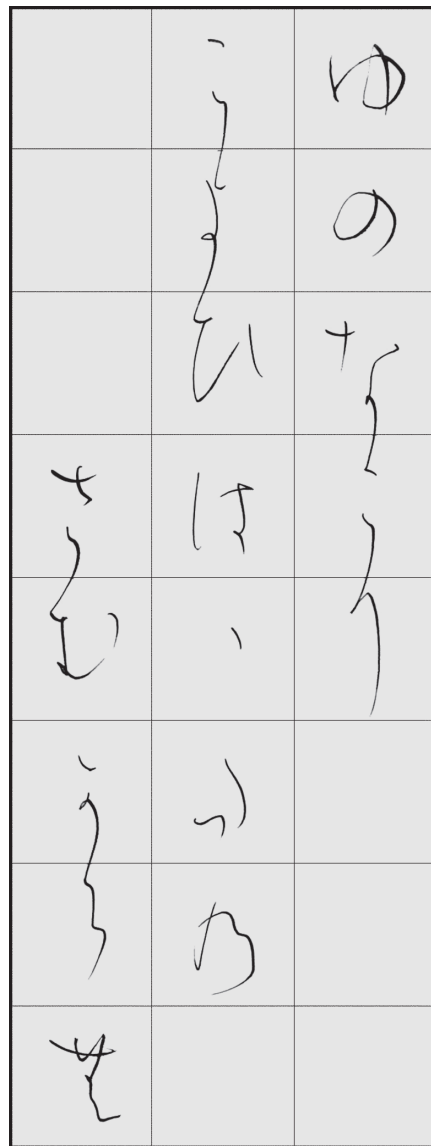
準初段から六段まで

新入から1級まで

湯ゆの名残なごり今宵こよひは肌くもの寒さむからむ無



湯ゆの名残なごり今宵こよひは肌くもの寒さむからむ無



■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆11月課題予告

秋風や藪やぶも畠はも不破ふの関

無む す や さ な

能の 能 能 能 能

乃の 乃 乃 乃 乃

飛ひ 飛 飛 飛 飛

〔古筆参考〕

みました。

〔解説〕筆圧は、一行目と三行目で加え、二行目は軽快にして書きおさめてみました。

温かいもてなしに対する挨拶。

〔大意〕越路の温泉も今日が最後と思えば、今晚の湯上りの肌もどこか肌寒く感じるのだらう。逗留中の主人の

は宗房、別号は桃青・風羅坊。

〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名

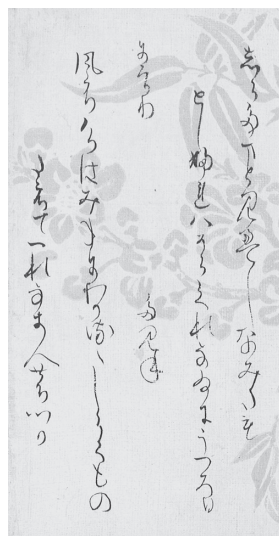
録]「山中の里出る名残」と前書。

〔出典〕元禄二年。柞原集(菅菰抄附

湯の名残今宵は肌の寒からむ (芭蕉句集より)

〔古筆参考〕

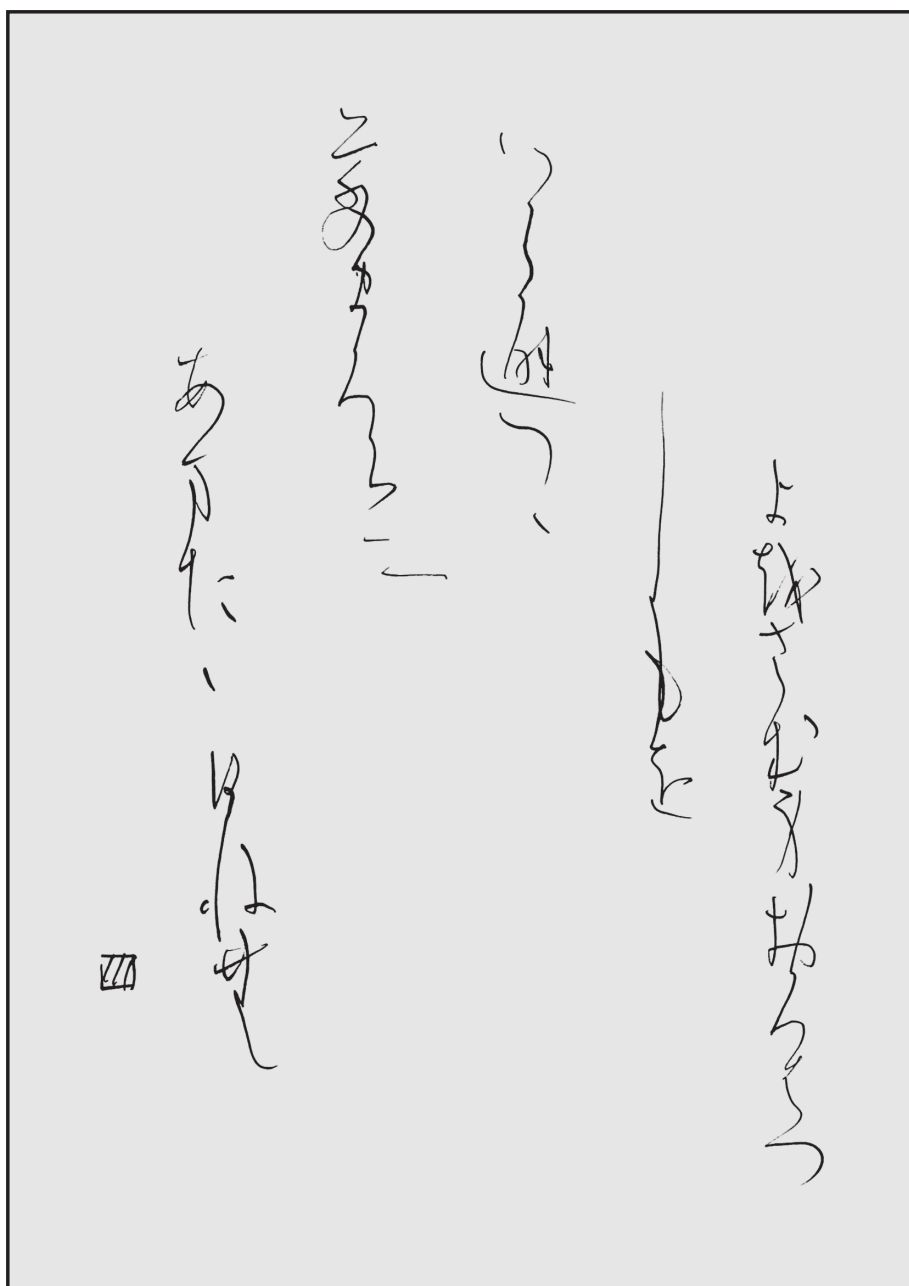
ほん あ み ぎれ
本阿弥切



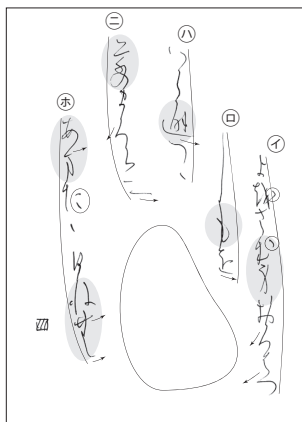
志多萬 盈多毛
しらたまと見えしなみだも
としふればからくれなるにうつろひ
爾介利 多脱か見年
にけり た(だ)みね
風ふけばみねにわかるゝしらくもの
多衣 奈支 農 可
たえてつれなき人の心か

締切り 十月二十三日 (必着)

築瀬舟香書



〔解説〕



〔解説〕

〔出典〕 古今和歌集

(新潮日本古典集成)

夜を寒みおく初霜を払ひつつ、
草の枕にあまたたび寝む
よ越さむ身 者つしも 八ら避
まくら二 万、日ね無

〔歌意〕 夜が寒いので、おきかかる初霜を払いながら、もう幾夜も旅寝を繰り返した。

◆11月課題予告

手向けにはつづりの袖も裁るべきに
紅葉に飽ける神やかへさむ
もみぢ あ

締切り 10月23日(必着)

寒さが次第につのり、吹く風にも
もの寂しさが感じられる頃となり
ました。この季節になると、どの
家からも秋刀魚を焼く煙が立ち
込めていたのをふと思い出します。
秋冷日増しの折、ご自愛のほど。

寒さが次第につのり、吹く風にも
もの寂しさが感じられる頃となり
ました。この季節になると、どの
家からも秋刀魚を焼く煙が立ち
込めていたのをふと思い出します。
秋冷日増しの折、ご自愛のほど。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

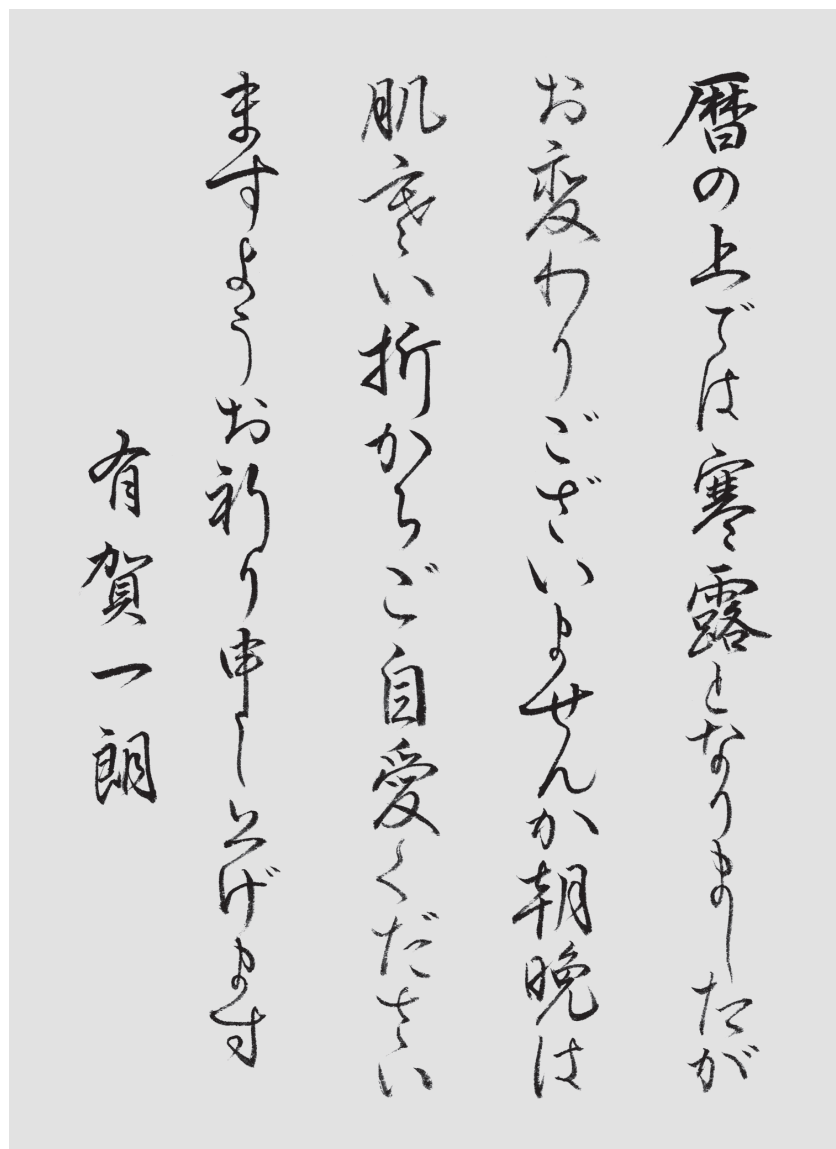
明治28年、平安遷都1000年を
記念して平安神宮が創建された。

福井県坂井市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十月二十三日（必着） 半切（一三六cm×三五cm）

新井龍峰書

崑崙閣老松千尺

天静時聞鶴一聲

張詠

半紙（334mm×240mm）

伊藤梅香書

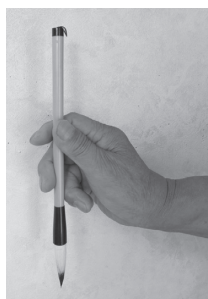
〔条幅解説〕

（前号よりの続き）筆管を軽く持ち、親指と薬指で挟むようにします。

単鉤法



双鉤法



〔大意〕千尺もの高い松は岩穴に沿って色はいよいよ老い、一声の鶴は静かな天に鳴くのが聞こえた。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

暦の上では寒露となりましたが、お変わりございませんか。朝晩は肌寒い折から、ご自愛ください。ますようお祈り申し上げます。
（ご自分の氏名）
・印で墨つぎしました。

新入から1級まで(行書)

清
水
翠
芳
書

山意向
秋多

さんいあきにむかっておし
山意向秋多

〔大意〕山の景色の風情は、秋に向って豊かになる。

〔解説〕

山 意 向
秋 多

◆11月課題予告(楷書)

涼風満
紅樹

準初段から師範まで

子徳倫
為褒聖

須田一葉臨



子
徳
倫
為
褒
聖

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）
〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）
〔読み〕子徳倫を（立てて）褒聖（候と）為す。

〔解説〕

子 徳
倫 為
褒 聖

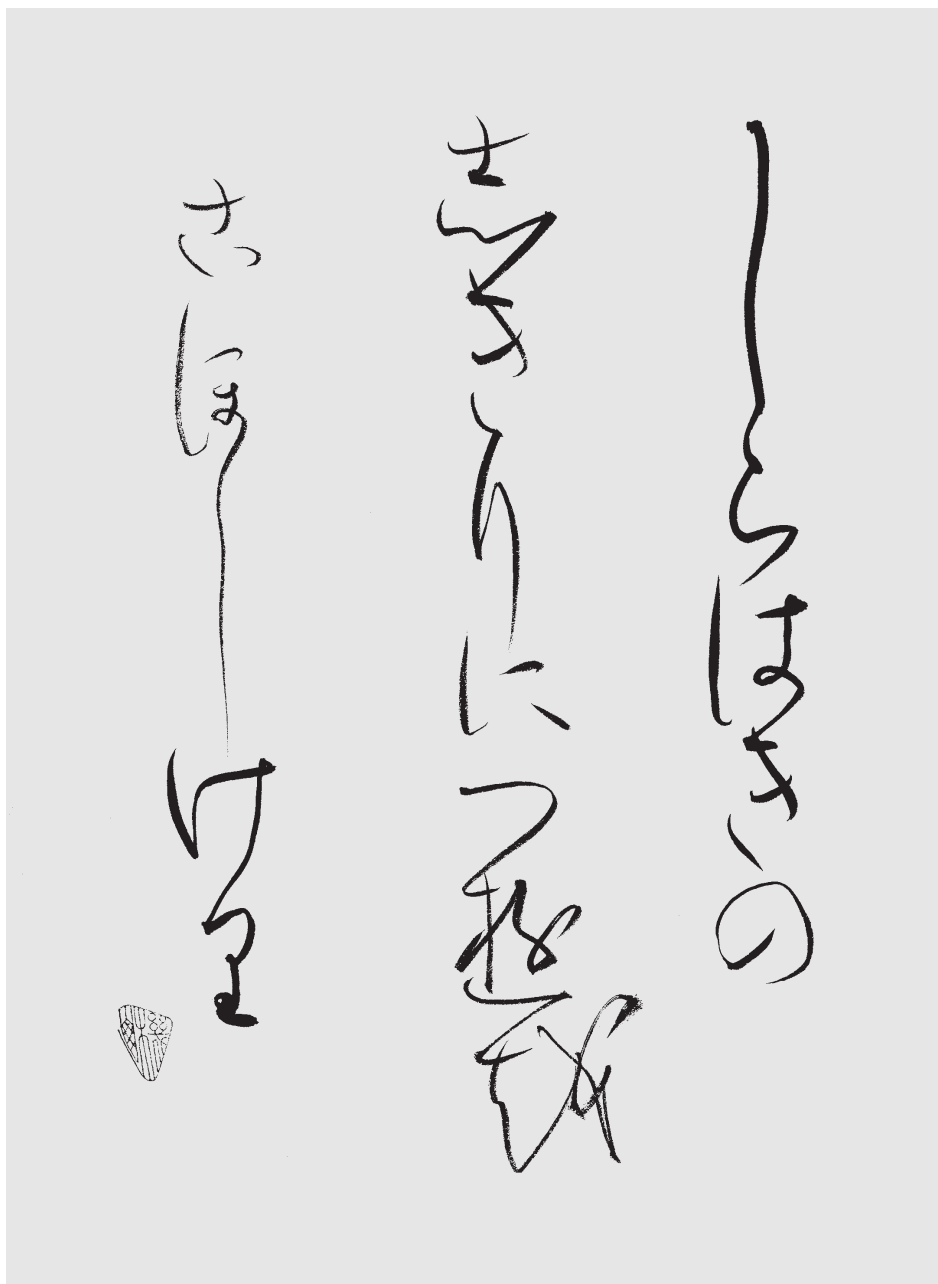
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆11月課題予告

機要詞
茂道曠

新入から1級まで

浅井機山先生書



白萩のしきりに露をこぼしけり

正岡子規

〔句意〕

朝露に濡れた白萩を詠んでいる。白萩がわずかに揺れるたびに、露がはらはらと落ちる。ともに萩の花も散るのである。絵の如く美しい句。

〔古筆参考〕

志 志 志 志 志

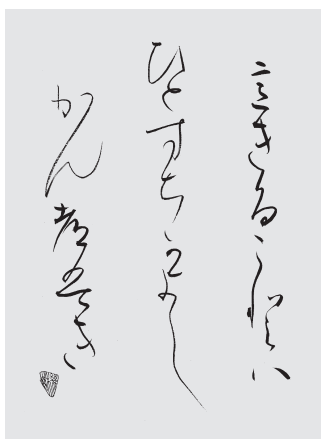
遊 遊 遊 遊 遊

越 越 越 越 越

古 古 古 古 古

里 里 里 里 里

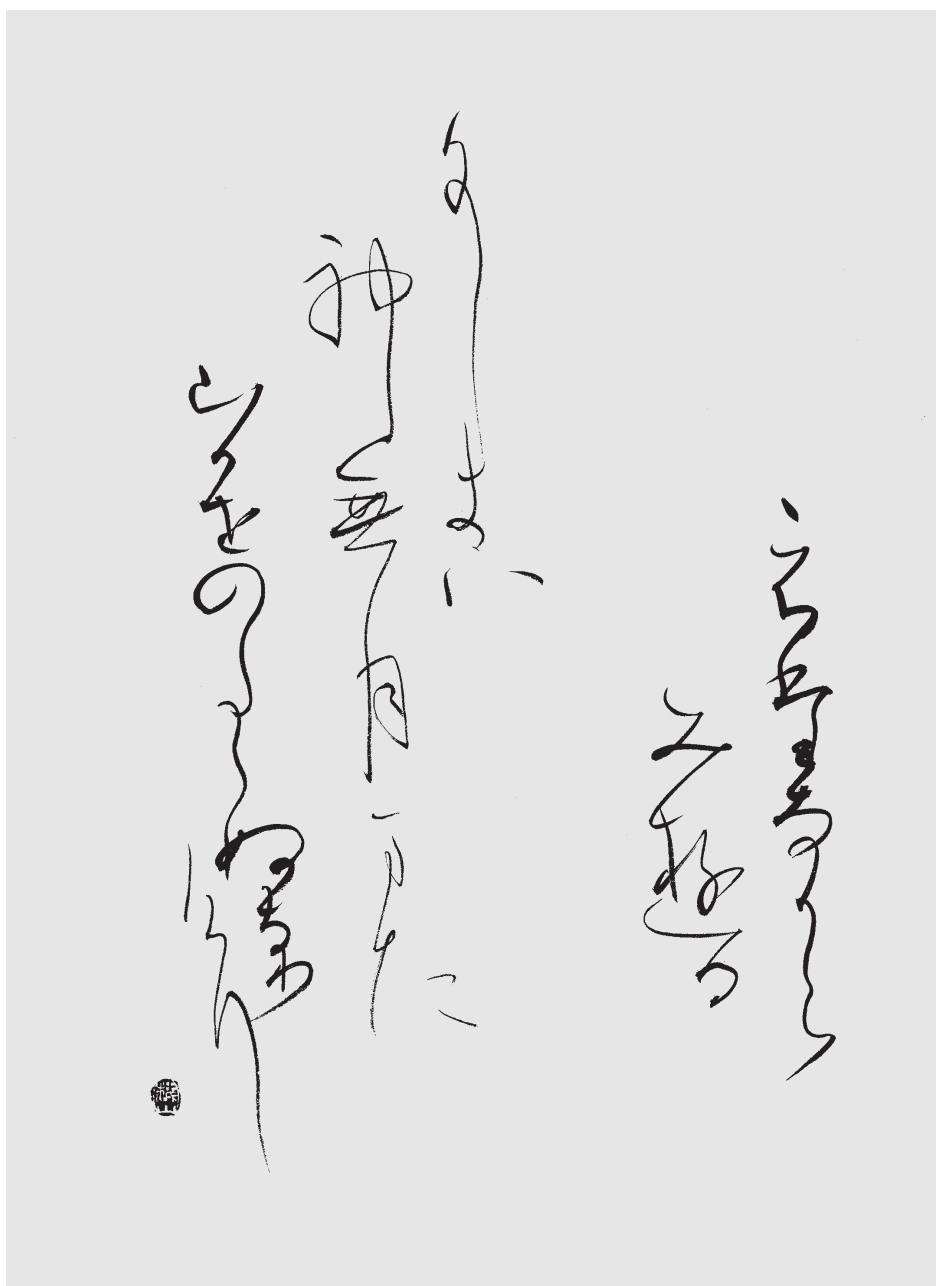
◆11月課題予告



生きることは一筋がよし寒椿

準初段から師範まで

浅井機山先生書



え堂奈可
枝なが
ら見ゆるに
しきは神無月

万た可世
まだ山風の
たたぬなり
けり

ふじわらのきよただ
藤原清正

〔歌意〕

いまだに枝についたままで眺められる錦の
ような紅葉は、十月になってもまだ、山風
が吹き始めず錦を断ち切らないのだなあ。

〔古筆参考〕

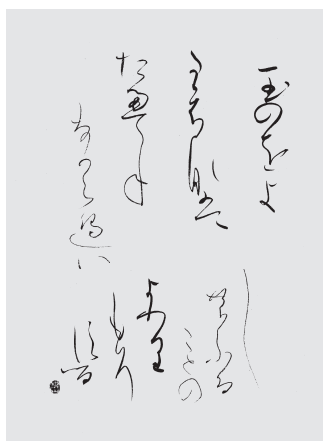
堂た
奈な
遊ゆ
尔に
支き
利り

あ
な
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ
あ

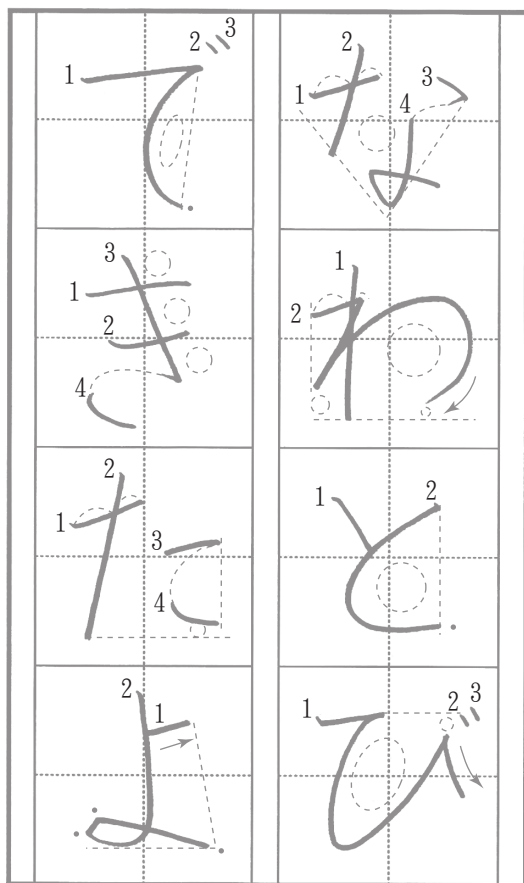
あ
あ
あ
あ
あ
あ

◆11月課題予告



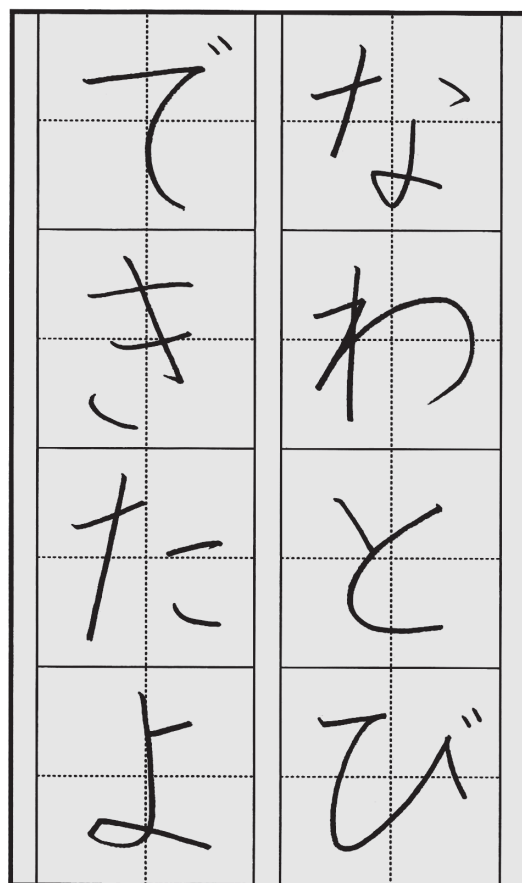
たまを
玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば
しのぶ
忍ぶることの弱りもぞする

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



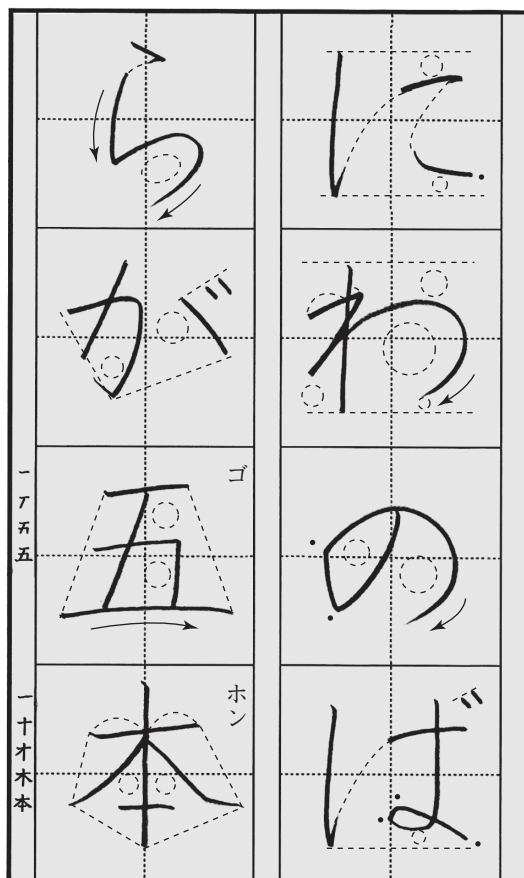
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



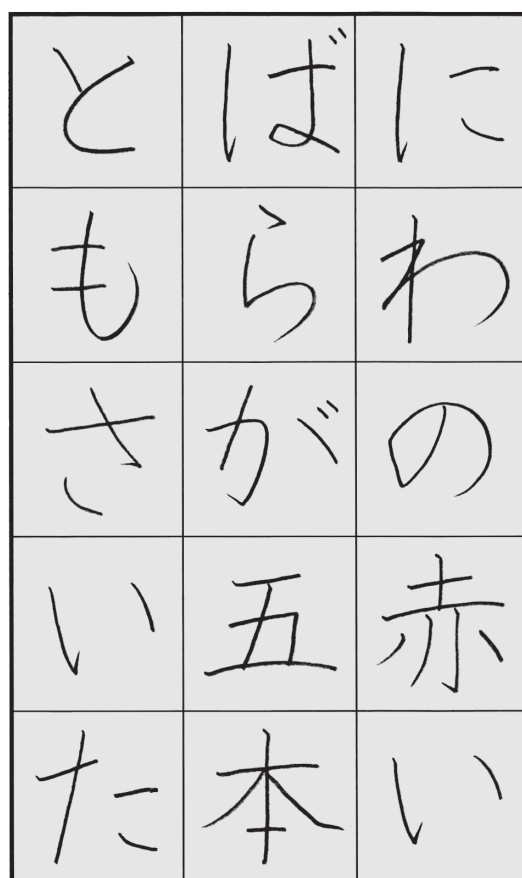
よ
う
年

幼年〜小三年まで 三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準
初
段
以
上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

中 チュウ	色 いろ
を	づ
父 ちち	く
と	山 サン

新入1級

さ	山	色
ん	中	づ
と	を	く
歩	お	秋
く	父	の

小二年

準初段以上

お	暗 くら
月 つき	く
見 み	し
を	て

新入1級

を	し	部
楽	て	屋
し	お	を
ん	月	暗
だ	見	く

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

見	帰
る	り
風	道
景	に

新入1級

景	道	夕
か	に	方
好	見	の
き	る	帰
だ	風	り

小四年

準初段以上

解説(よく見て習いましょう)

菜	耕
曲	畑
作	秋
	野

か	は	耕
豊	秋	し
作	の	た
で	野	畑
す	菜	で

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 前 堀 玉 華 書

〈用具〉自由(黒色に限る)

クダラ然然然	然 ゼン	神 シン
ミミ現現現	現 ゲン	秘 ピ
ハハ象象象	象 シヨウ	的 テキ
ナナ真真真	真 シン	自 ジ

解説(よく見て習いましょう)

真	然	神
に	現	秘
収	象	的
め	を	な
る	写	自

小六年

(全員)

射	ト	暴
に	の	れ
大	予	る
苦	防	ペ
戦	注	ツ

中二・三年

(行書)

記	を	身
を	観	近
付	察	な
け	し	昆
る	回	虫

中一年

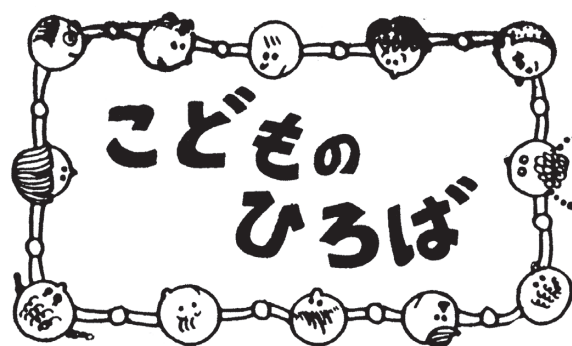
(行書)

▼小三年以下の課題 出井美華書

動	人	ま	見	ス
く	も	る	下	カ
点	車	で	ろ	イ
の	も	お	す	ツ
よう		も	東	リ
		ち	京	ー
		や	は	から



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 10月23日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題 まし づめ せい こう 書
猿 爪 静 光

日	す	月	秋	中
本	す	を	の	秋
の	き	愛	収	の
伝	を	で	穫	名
統	か	団	を	月
行	ざ	子	喜	
事	る	や	び	



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

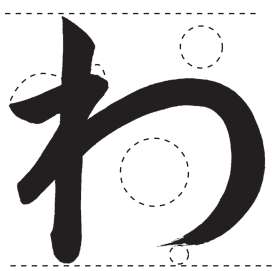
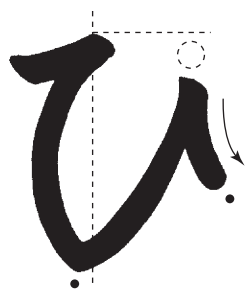
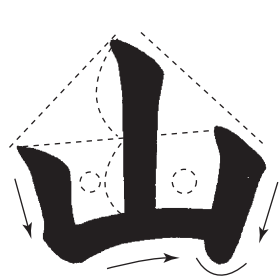


小二

山中

サ
ハ

ひ



小
一

にわ

小五 野秋
菜の

見お
小三 月

道 月
秋 見
野 帰

道帰
小四 り

小三、小五年
水野碧友書

中二・三

注予

射防

小六

現自

象然

小六／中二・三年

永谷恵子書

察

防

射

然

象

觀

中一

日觀

記察

※行書は、連続する線をリズムよく書こう。